

# 月刊 やちまなこ

2018. 6.15 発行

No.247

## 6月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



### 湿原散歩

湖畔の緑が一段と鮮やかになり、近くにあるアオサギコロニーでは食欲旺盛なヒナたちに親鳥は餌を与えるため、湖とコロニーを盛んに行き来している。気温が高くなるとエゾハルゼミの鳴き声が辺りから聞こえ、さらに夏鳥たちの声が加わり、待ちかねた初夏の訪れを釧路湿原に告げているようだ。なかでもカッコウはその季節を告げる代表格だが、よく聞くと鳴き声が上手かったり、前後どちらかがはっきり聞こえない未熟なものは、獲得したお気に入りのソングポストをあっさりとはベテランに譲ってしまった。



## 塘路フィールドノート【5/15～6/14】

### 【野鳥】

夏鳥たちはほぼ勢ぞろいし、連日元気な鳴き声を響かせています。その一方、新緑の季節を迎え、野鳥たちの姿を捉えるのは徐々に難しくなっています。姿の見えない野鳥たちの鳴き声に初夏を感じる今日この頃です。



タンチョウ (シラルトロ湖畔)

湖の方へ飛んでいったタンチョウ。ヒナのための餌を取りに行くところでしょうか？



アオサギ (塘路湖)

湖畔のコロニーで子育て真っ最中。餌を探して湖上を行き交う姿は初夏の風物詩です



オオジシギ (塘路湖畔)

低い位置から聞こえたおなじみの鳴き声。目前の樹上で縄張りを主張していました



カワラヒワ (塘路湖畔)

縄張り争いをしていました。枝の上で羽をばたつかせて他の♂を威嚇していました



サメビタキ (茅沼蝶の森)

♀を追いかけて目の前の木に飛来した♂。♀に気に入られようと必死にアピール中



ツバメ (塘路湖畔)

センター周辺を飛び回っていたツバメ。一度見失い、気付いたら屋根の上にいました

## 【植物】

樹々の緑は日に日に濃くなり、初夏の花々も次々に開花し始めました。5月下旬の天候がやや不安定だったせい、昨年と比べて少し開花が遅れた種もありますが、今年の花シーズン、ここまでは順調にきているようです。



オオバナノエンレイソウ (フィトンチッドの森)  
春の花の代表格といえやはりこの花。フィトンチッドの森入口付近で多く見られます



コンロンソウ (塘路湖畔)  
昨年よりやや遅れて開花。初夏の植物の中では背が高く、地味ながら目立つ花です



フタマタイチゲ (塘路湖畔)  
湖畔の水辺に咲いています。優しい色合いが湖畔の風景に落ち着きを与えてくれます



フデリンドウ (シラルトロ湖畔)  
湖畔の道端でひっそりと咲いていました。見つけるとちょっとテンション↑な花です



シコタンキンボウゲ (塘路湖畔)  
雨降りの日に会おうとうれしい花。小雨降る中、花卉が雨粒でキラキラと輝いていました



バイケイソウ (塘路湖畔)  
今年は数年に一度の当たり年かも。緑がかった大型の花がまとまって咲く姿は壮観です

## 【昆虫】

エゾハルゼミが鳴き、ヨツボシトンボが飛び始めた初夏の塘路湖畔。活発に動き回る昆虫たちの中に、スズメバチの姿も多く見られるようになってきました。今年は昨年と比べてスズメバチの発生数が多いように感じます。



ミヤマセセリ (茅沼蝶の森)  
スミレの花に止まっていた♀。セセリチョウの仲間では今シーズンの初確認でした



オオトラフトンボ (茅沼蝶の森)  
ササの新芽に止まっていた発生直後の♀。名前のとおり、黄色と黒の縞模様が鮮やかです



アカマルハナバチ (塘路湖畔)  
タンポポに訪花する女王バチ。背中には黄色い花粉がべったりとくっついていました

### ~~カラスに追われるオジロワシ~~

先日、塘路湖上でオジロワシの幼鳥がカラスに追いかけてられているところを目撃しました。こここのところよく見る光景ですが、いつ見てもオジロワシの方は反撃しようとせず、迷惑そうにただ逃げ回るだけ。一方のカラスはオジロワシが反撃してこないのをいいことに、ひたすらちょっかいを出し続けます。

モビング（擬攻撃）と呼ばれるカラスのこの行動は、猛禽類などに執拗に付きまわって追い払う目的があると言われ、時にはカラス2～3羽で1羽のオジロワシにちょっかいを出していることもあります。さらに、オジロワシが木に止まって休んでいるときでさえ、近くに陣取ってしっかりと監視していたりもします。

行くところ行くところ執拗に追いかけて回されるオジロワシには心から同情してしまいますが、それだけカラスにとってオジロワシは煙たい存在ということなのでしょう。

ただし、やりすぎると時に手痛いしっぺ返しを食らうこともあるとか…。



## ■新緑の中で野鳥観察（新緑の湿原 野鳥観察会）

6月2日（土）、新緑の季節を迎えたシラルトロ湖畔で今春最後の野鳥観察会を開催しました。この時期、すでに夏鳥たちはほぼ勢ぞろいしており、当日もスタート直後から賑やかな野鳥たちの鳴き声が聞こえていました。しかし、今年は樹々の芽吹きがやや早く、野鳥の姿を探すのに一苦労。それでも、講師の方から鳴き声の特徴を教わりながら、声のした方向を参加者一同協力して探しました。その結果、例年この時期の観察会ではあまり観察されないコサメビタキが見られるなど、ほぼ例年通りの21種の野鳥を確認し、まずまずの成果となりました。

野鳥の姿がなかなか見えない中、鳴き声を頼りに野鳥を探した今回の観察会。4月、5月の観察会とは一味違う野鳥観察の楽しさに触れることができました。（参加者9名）



樹上のコムクドリを観察

## 7月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

### ◎縄文土器作り講座

[日 時] 7月7日（土）10時～14時  
[定 員・参加料] 15名 300円（材料費）  
[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

### ◎バードカービング展

[日 時] 7月22日（日）～8月12日（日）  
10時～17時（申し込み不要）  
[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター  
レクチャールーム

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### ◎夏の花を見に行こう

[日 時] 7月8日（日）10時～12時  
[定 員・参加料] 15名 無料  
[開催場所] 温根内ビジターセンター

### ◎ホテルの週末

[日 時] 7月20日（金）～7月22日（日）  
19時半～21時  
[定 員・参加料] なし 無料  
[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター（0154-65-2323）まで

◆日出・日入時間 5/15(4:00,18:38). 5/31( 3:47,18:54). 6/14( 3:43,19:03)

～編集後記～

■鮮やかな緑とともに釧路湿原には季節を彩る花が次々と咲き始めました。エコミュージアムセンター近くにある塘路湖畔歩道も散策する人の姿が目立つようになり、湖を背景に写真を撮ったり、野鳥観察をしたり、皆さん楽しんでいるようです。エコミュージアムセンターでは双眼鏡を無料で（数量限定）貸出ししていますので、散策する際に利用してみませんか？

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL：015-487-3003 FAX：015-487-3004

E-mail：emc@hokkai.or.jp

開館時間：10：00～17：00

（11～3月：16：00まで）

休館日：毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料